公益社団法人　岩手県看護協会　様

謹啓　晩秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、貴機関・団体におかれましては、本年4月 22 日に発生した大槌町の大規模林野火災に際し、多大なる使命感をもって保健福祉医療の分野から、迅速で手厚い支援活動を展開されました。

貴機関・団体の専門的な知見と豊富な経験をいかした献身的な活動は、避難生活を送る町民の不安の解消と心身の健康維持に尽くされ、二次的な体調不良者を出すこともなく安全で安心な環境を支える上で極めて大きな力となりました。

さらに、不慣れな災害対応や避難所運営に追われる町職員に対しても、保健福祉医療のプロフェッショナルとして業務を力強くバックアップし、現場の負担軽減と効率的な運営体制の確立にご尽力いただくなど現場の大きな支えとなりました。

このたびの多大なるご支援とご貢献に対し、深く感謝申し上げますとともに、貴機関・団体の今後ますますのご発展と、関係皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、略儀ながら書中をもちまして御礼の御挨拶とさせていただきます。

謹白

令和8年 10 月 30 日

大槌町長　平野公三

岩看協
8.11.-2
第　号

令和８年度大槌町林野火災
概要と今後の取り組み

岩手県　大槌町

01｜火災対応状況等

02｜消火活動

03｜被害の状況

04｜避難の状況

05｜森林再生の取り組み

01｜火災対応状況等

（１）発生場所・日時等

項　目	１件目（小鎚）	２件目（吉里吉里）
発生場所	大槌町小鎚第８地割26	大槌町大槌第30地割
発生日時	不明	
出火原因	不明	
覚知時間	４月22日（水）13時53分	４月22日（水）16時22分
鎮圧日時	５月２日　13時00分	
鎮火日時	５月29日　13時00分	

01｜火災対応状況等

（2）災害対策本部等の設置

日　時	対　応
４月22日14時50分	災害警戒本部を設置
４月22日15時45分	災害対策本部へ移行
５月12日16時00分	災害警戒本部へ移行
５月29日13時00分	災害警戒本部を廃止



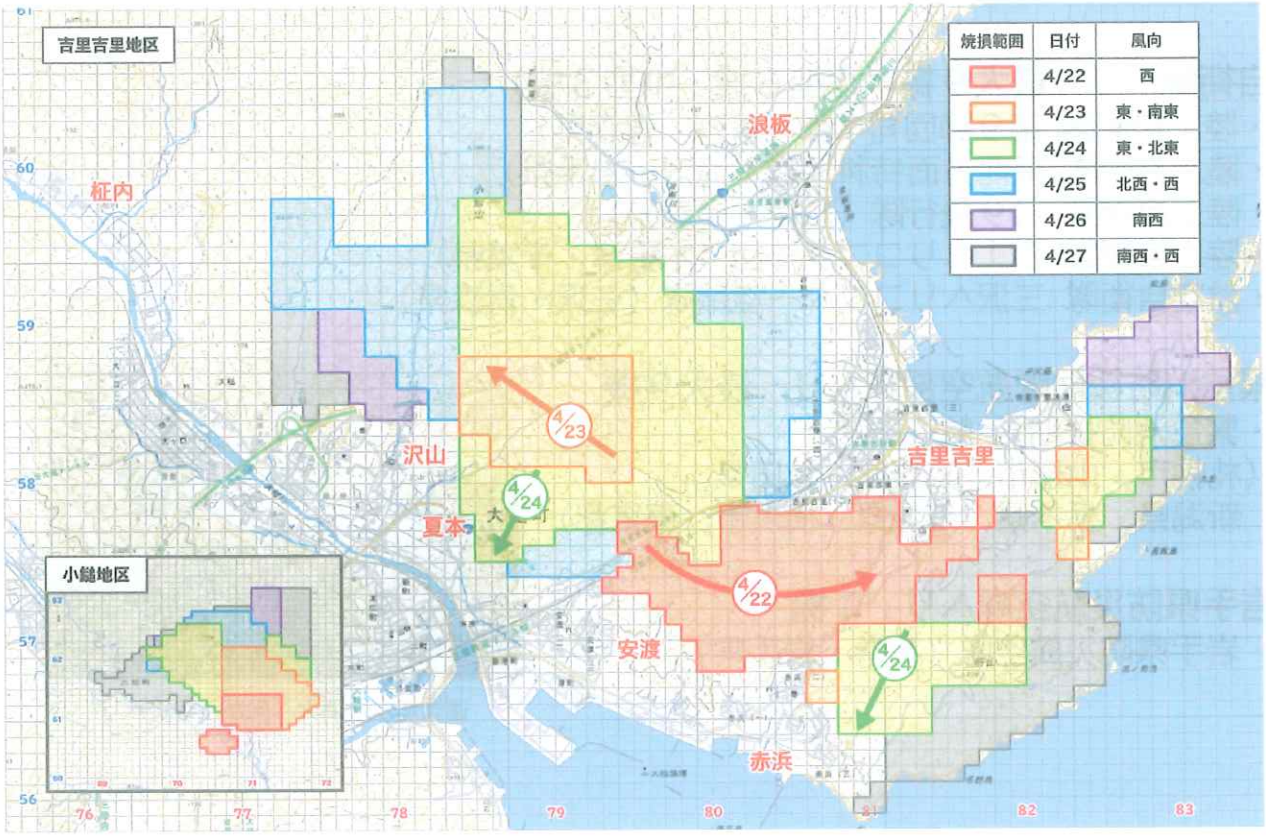
災害対策本部会議（９時と17時に開催）



消防、自衛隊から活動成果・予定を説明

01｜火災対応状況等

（3）延焼状況



02｜消火活動

（1）空中消火活動

①自衛隊ヘリ　最大９機（大型６機・中型３機）
- 陸上自衛隊 第９師団司令部（青森・青森県）
- 陸上自衛隊 東北方面特科連隊（滝沢・岩手県）
- 陸上自衛隊 第９飛行隊（八戸・青森県）
- 陸上自衛隊 第１ヘリコプター団（木更津・千葉県）
- 航空自衛隊 三沢ヘリコプター空輸隊（三沢・青森県）

②緊急消防援助隊航空部隊ヘリ　最大９機
- 緊急消防援助隊 航空部隊
（札幌市、山形市、宮城県、秋田県、
新潟県、栃木県、茨城県、横浜市、東京都）

③岩手県防災航空隊ヘリ　１機
- 岩手県防災航空隊（花巻・岩手県）



運動場から消火へ向かう防災ヘリ

（２）地上消火活動

①釜石大槌地区行政事務組合消防本部
②大槌消防署
③大槌町消防団、釜石市消防団
④県内応援隊（岩手県内各消防本部等）
⑤緊急消防援助隊　指揮支援部隊
（仙台市、札幌市）
⑥緊急消防援助隊　陸上部隊
（青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、東京都）



２４時間体制での消火・警戒活動



急峻な地形により困難を極めた消火

03｜被害の状況

（1）林野被害

区　分	民有林	国有林	計
被害面積	1，169 ha	451 ha	1，620 ha
被 害 額	1，729 百万円	164 百万円	1，893 百万円





03｜被害の状況

（２）建物等の被害　（令和８年10月30日時点）

① 住家

地　区	棟　数	備　考
小　鎚	３棟	全焼１棟、部分焼１棟、ぼや１棟
吉里吉里	０棟	
計	３棟	

② 非住家

地　区	棟　数	備　考
小　鎚	１０棟	車庫１棟、倉庫等６棟、トイレ２棟、牛舎１棟
吉里吉里	１８棟	倉庫等９棟、休憩所１棟、公衆便所１棟、展望台１棟、通信施設６棟
計	２８棟	

③ その他

地　区	件　数	備　考
小　鎚	１０件	ビニールハウス７件、車両１件、その他動産２件
吉里吉里	１１件	遊歩道手すり１件、鳥居・石碑等６件、その他動産４件
計	２１件	

03｜被害の状況

（２）建物等の被害



全焼した住家（小鎚）



ビニールハウス（小鎚）



牛舎（小鎚）



倉庫（吉里吉里）

03｜被害の状況

（2）建物等の被害



筋山緑地公園公衆便所（全焼）



休憩所（一部焼損）



遊歩道手すり（全焼）



木製展望台（一部焼損）

03｜被害の状況

（3）その他の被害状況

項　目	1件目（小鎚）	2件目（吉里吉里）	合計
人的被害	・避難所で転倒し、あご付近裂傷　60代女性 ・消防団活動中に右手を負傷　40代男性		2件
インフラ被害	徳並から長井方面 ・電話不通 ・テレビ（CATV）不通 ※4月26日復旧済み		2件
商工観光被害 （5月末時点）	＜直接被害＞　456万円 ・商品や倉庫、機械の焼損 ＜間接被害＞　9,422万円 ・宿泊、宴会のキャンセル、食材の破棄 ・避難指示期間の休業による販売減少　など 【内訳】小売業　4,376万円　宿泊業　2,576万円 製造業　840万円　飲食業　487万円 建設業　482万円		9,878万円

（４）被災者支援の取り組み

①　義援金受入額（第２次配分時点）

区分	対象	受入額	合計
個人	690件	30,438,314円	168,587,982円
団体	331件	138,149,668円	

②　住宅被害に対する支援（第２次配分まで）

区分	対象(世帯員数)	配分基準額	配分額
住宅 (全壊)	１世帯 (２名)	世帯：1,200万円 個人：　30万円	1,260万円
住宅 (一部損壊)	２世帯	72万円	144万円
住宅再建加算	１世帯	世帯：　600万円	600万円
倉庫等被害	２棟	20万円	40万円

03｜被害の状況

（４）被災者支援の取り組み

③　商工観光被害に対する支援

ア　<u>宿泊復興割キャンペーン</u>

大槌町への宿泊旅行を
喚起するため、
2,000円の宿泊料金割引と
1,000円の商品クーポン券
をセット配布



イ　<u>特産品販売・観光PR実施</u>

日時：8/18～24
場所：大宮駅東西連絡通路
内容：JR東日本主催の「東北物産展」
　　に「大槌町コーナー」を設置



04｜避難の状況

（1）避難指示等

地区名	対象世帯数等	避難指示	避難指示解除
吉里吉里１丁目・２丁目・３丁目（国道45号線東側）	334世帯・807名	4/22 19:20	4/29 13:45
安渡１丁目・２丁目・３丁目	272世帯・514名	4/22 19:29	
赤浜１丁目・２丁目・３丁目	294世帯・563名		
沢山	329世帯・704名	4/23 12:50	
吉里吉里４丁目	312世帯・645名	4/24 15:00	
長井	17世帯・ 24名	4/26 13:05	4/30 16:30
合計	1,558世帯・3,257名		

04｜避難の状況

（2）避難所開設

避難所	最大避難者数	開設日時	閉鎖日時
小鎚多目的集会所	４世帯・11名	4/22 15:45	5/1 09:30
吉里吉里学園小学部	60世帯・138名	4/22 16:55	4/24 10:30
城山公園体育館	80世帯・216名	4/22 18:00	4/30 18:00
勤労青少年体育センター	22世帯・52名	4/23 12:50	4/29 16:00
吉里吉里公民館	吉里吉里小学部から移動	4/24 10:30	4/29 14:05
寺野弓道場	０世帯・０名	4/24 15:00	
鵜住居小学校・鵜住居中学校 第１体育館（釜石市）	９世帯・23名	4/24 15:00	
陸中海岸青少年の家（山田町）	４世帯・11名	4/25 10:00	
金沢地区体育館（ペット）	１世帯・２名	4/26 10:30	4/29 16:00
最大避難者数合計	180世帯・453名		

04｜避難の状況

（3）避難者への対応

- **避難者の健康確認**
  保健医療福祉チーム（ＤＭＡＴ、ＤＷＡＴ、こころのケアセンター、日赤、保健師、看護師等）が各避難所に常駐又は巡回し避難者の健康状況等を確認

- **避難者の無料入浴サービス**
  避難者を対象に無料入浴券を配布し、衛生面と心理面でのケアに対応



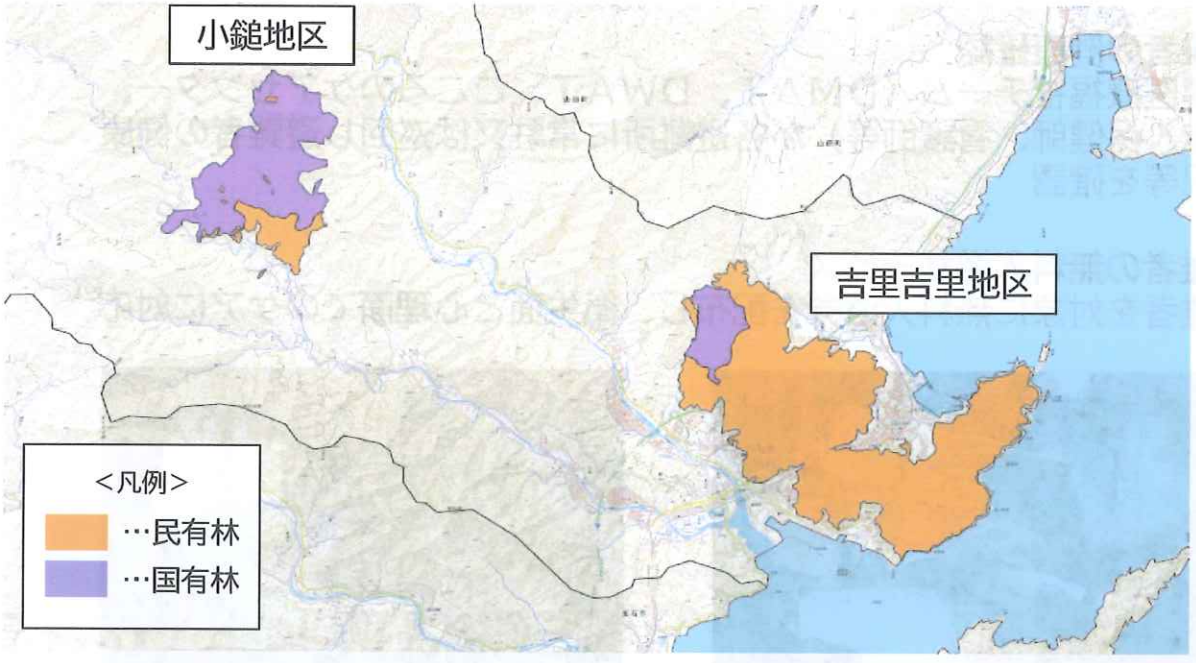
地域住民や支援団体による炊き出し



町職員、自治体派遣職員による避難所運営

05｜森林再生の取り組み

（１）延焼範囲図（概算）

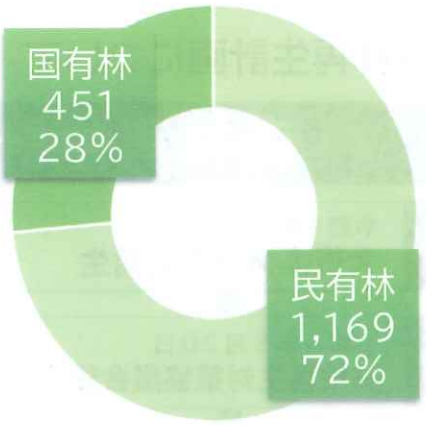


林野被害面積 1,620 ha

（2）現地調査結果

①森林被害面積

区　分	小　鎚	吉里吉里	計
民有林	90	1,079	1,169
国有林	360	91	451
合　計	450	1,170	1,620



②民有林の所有形態別面積

区　分		小　鎚	吉里吉里	計
民有林	私有林	90	826	916
	町有林	0	133	133
	県有林	0	119	119
	合　計	90	1,079	1,169

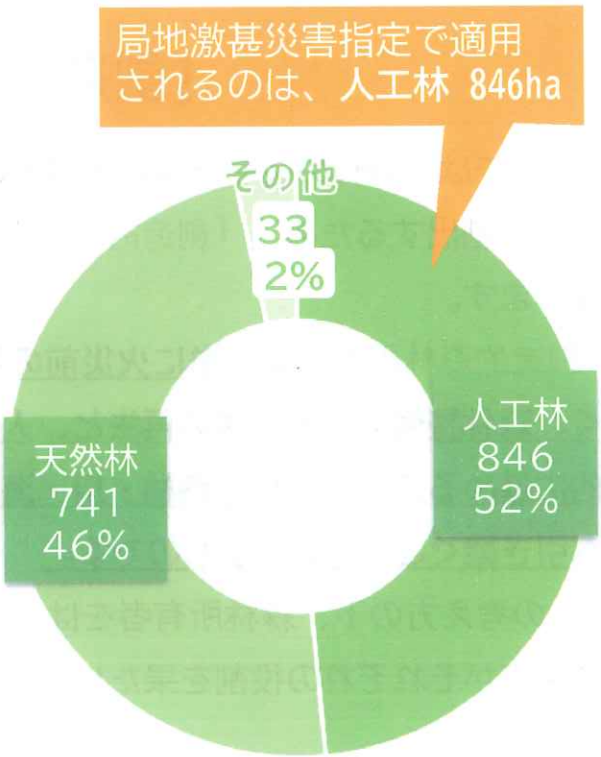


05｜森林再生の取り組み

（2）現地調査結果

③林種別面積

区　分		小　鎚	吉里吉里	計
民有林	人工林	28	529	557
	天然林	62	524	586
	その他	0	26	26
	計	90	1,079	1,169
国有林	人工林	217	71	289
	天然林	141	14	155
	その他	2	5	7
	計	360	91	451
合計	人工林	246	600	846
	天然林	203	538	741
	その他	2	32	33
	計	450	1,170	1,620



（3）森林再生計画について

森林再生計画策定までの流れ

①	令和８年４月22日 **大規模林野火災発生**	・５月29日に鎮火
②	令和８年５月20日 **林地再生対策協議会設置**	森林再生の方向性を検討するため、国・県・林業関係団体・学識経験者などで構成する協議会を設置しました。
③	令和８年６月15日 **第１回協議会**	被害状況や森林災害復旧事業の制度、今後の進め方について協議しました。
④	令和８年７月21日 **第２回協議会**	森林再生計画（案）の計画の趣旨、基本方針及びエリア区分について協議しました。
⑤	令和８年８月４日～７日 **森林所有者説明会**	現段階の森林再生計画（案）についてご説明するとともに、森林所有者の皆様からご意見を伺います。
⑥	令和９年３月(予定) **森林再生計画策定**	協議会での検討内容や森林所有者の皆様からいただいたご意見を踏まえ、森林再生計画を策定します。

森林再生計画

【創造的森林再生】

当町では、森林の有する多面的機能の回復を図るとともに、新たな町の魅力や価値を創出するため、「創造的森林再生」を基本的な考え方として森林再生を推進します。

創造的森林再生とは、**単に火災前の状態へ復旧することを目的とするのではなく、森林整備による森林の再生と、人と森林との多様な関わりを育む取組を一体的に進めることにより、森林・川・海がつながる当町の豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐことを目指すものです。**

この考え方の下、森林所有者をはじめ、林業事業体、関係行政機関、地域住民、企業等がそれぞれの役割を果たしながら連携し、地域の実情に応じた森林再生を推進します。

森林再生計画

【活動方針】

（1） 森林を再生する（Recovery）

森林の有する多面的機能の回復を図り、安全・安心な暮らしを支える森林づくりを進めます。

（2） 新たな価値を創る（Creation）

森林を核として、新たな町の魅力や価値を創出し、地域の活性化につながる森林づくりを進めます。

（3） 人と森林をつなぐ（Connection）

森林所有者をはじめ、多様な主体が参画し、人と森林との多様な関わりを育む森林づくりを進めます。

（4） 未来へつなぐ（Succession）

森林・川・海のつながりを大切にし、持続可能な森林を次世代へ引き継ぎます。

05｜森林再生の取り組み

森林再生計画

【森林再生のエリア区分（ゾーニング）】

大槌町の林野火災により被災した森林の復旧・再生に当たっては、被害状況や森林の機能、土地利用の状況等を踏まえ、森林の多面的機能を早期に回復するとともに、災害に強く持続可能な森林づくりを推進するため、次の４つのエリアに区分し、それぞれの特性に応じた森林整備を進めます。

森林再生計画

（1） 生物多様性エリア

火災により失われた森林生態系の回復を図るため、広葉樹を主体とした森林の再生を推進します。多様な野生動植物の生息・生育環境を回復するとともに、生物多様性の保全、水源涵養及び土壌保全など、森林の公益的機能の再生を目指します。

（2） 資源循環エリア

火災で被災した木材を可能な限り有効利用するとともに、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業による森林の再生を推進します。計画的な再造林と森林整備を進めることで、地域林業の再生につなげます。

（3） 緩衝帯エリア

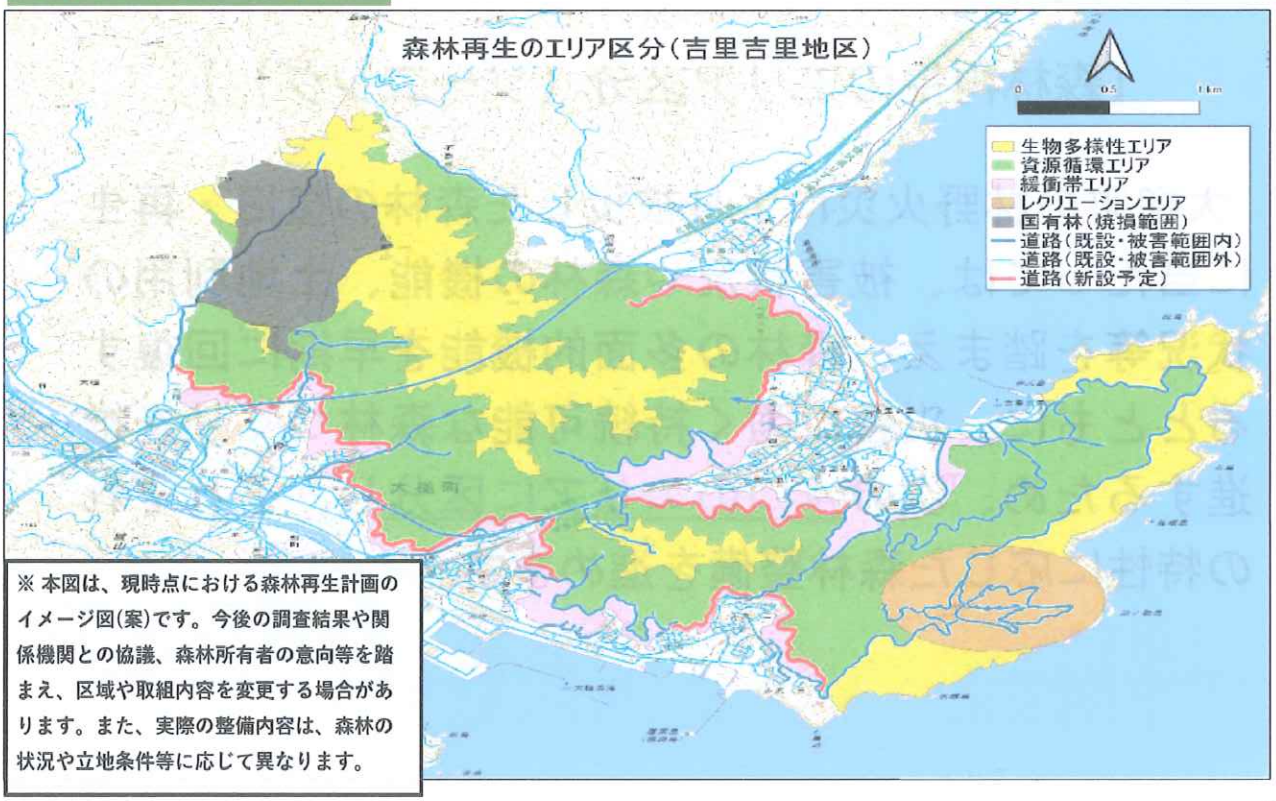
住宅地や集落周辺では、延焼防止や獣害対策を目的とした緩衝帯を整備します。見通しの良い空間を確保することで、野生鳥獣の出没抑制を図るとともに、将来的な林野火災の延焼リスクの低減に努めます。また、緩衝帯の整備に当たっては、防災機能の向上と森林の有する保全機能との両立に配慮するとともに、周辺環境や三陸沿岸特有のリアス海岸と森林が調和した景観に配慮しながら、適切な森林整備を進めます。

（4） レクリエーションエリア

町民や来訪者が森林とふれあい、自然の豊かさを実感するとともに、森林再生への理解を深めることができる森林の再生を推進します。火災により被災した森林公園や遊歩道等の復旧を進めるほか、景観にも配慮した森林整備を進め、森林再生や防災、林業に関する環境学習や体験活動を推進し、森林保全や防火意識の向上を図ります。

05｜森林再生の取り組み

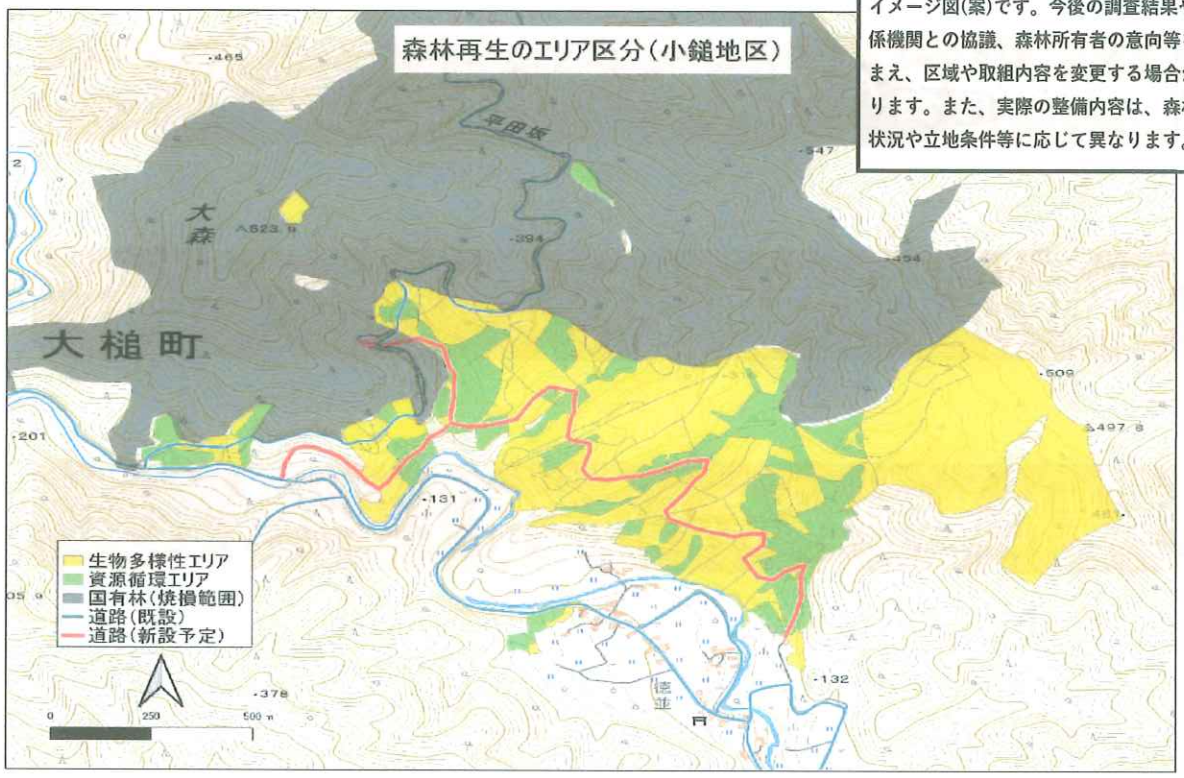
森林再生計画



※ 本図は、現時点における森林再生計画のイメージ図(案)です。今後の調査結果や関係機関との協議、森林所有者の意向等を踏まえ、区域や取組内容を変更する場合があります。また、実際の整備内容は、森林の状況や立地条件等に応じて異なります。

森林再生計画

※ 本図は、現時点における森林再生計画のイメージ図(案)です。今後の調査結果や関係機関との協議、森林所有者の意向等を踏まえ、区域や取組内容を変更する場合があります。また、実際の整備内容は、森林の状況や立地条件等に応じて異なります。



（４）森林再生に向けた４つの課題

①広範な被害区域
調査・事業検討に
時間を要する

②人工林と天然林の混在
森林の状況に応じた
再生手法の検討が必要

③多数の私有林
数多くの所有者との
丁寧な調整に時間を要する

④国土調査未実施区域
未実施区域が含まれ、
境界確認に時間を要する

（５）課題解決のために必要な対策

１ 森林所有者への支援

２ 整備のための財源確保

３ 事業推進のための人材確保